



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2005.4 月号

春期特別展 近世平塚への招待 —館蔵資料でみる23題—

春期特別展「近世平塚への招待」がはじまりました。4月は関連イベントが盛りだくさんです。みなさまこそってご参加ください。

本号では今回の特別展の三つのみどころをご説明いたします。あらためて、展示をご覧いただければ幸いです。



春期特別展「近世平塚への招待」—三つのみどころ

①五つのテーマで23の話題を古文書から読み解く

平塚の近世史の諸側面を、1. 村と領主、2. 生業をめぐる暮らし、3. 村の社会生活、4. 街道と舟運、5. 生活文化の諸相、の五つのテーマにわけ、1～4の各テーマには五つ、5については三つの計23の話題で読み解きます。そして、その根拠となる史料を展示します。

②展示には図表を多用

展示史料や内容の理解を視覚的にサポートするために、表やグラフ、図を多用しました。史料とあわせてご覧ください。

③古文書に活字を添付

展示されているほとんどの古文書に活字化したパネルを添付しました。古文書になじみが薄い方も、活字と古文書を対比しながら、解説にチャレンジしてみてください。



展示図録も好評頒布中です。展示テーマ5章23題の資料写真・図表・解説文とともに、巻末には付録として古文書の様式説明、年代表もつけてあります。平塚の郷土史・地域史学習の入門書としてもご利用ください。

A4判 56頁 オールカラー
(頒布価格 1000円)



関連イベント

◆特別展記念連続講演会

◎「近世文書を読む一道中日記にみる旅とその背景」

講師：早田旅人（当館学芸員）
日時：4月2日（土） 午後1時半～3時

◎「さまざまな資料で読み解く平塚の近世」

講師：土井浩（当館前館長）
日時：4月16日（土） 午後1時半～3時

◎「平塚からみえる近世社会」

講師：青木美智男さん（専修大学教授）
日時：4月17日（日） 午後1時半～3時

※各回とも会場は平塚市博物館講堂、参加自由

◆学芸員による展示解説

日時：4月10日（日）・23（土）・24（日）
午後1時半～2時半
参加：自由

◆裏打ちの会による古文書裏打ち実演公開

日時：4月24日（日） 午前10時～午後3時
参加：自由
場所：平塚市博物館科学教室

開催期間 5月8日（日）まで

博物館リニューアルオープン



3月19日の開館初日は332名、20日は425名、21日は554名と、連休中はお天気にも恵まれ、たくさんのお客で賑わいました。びっくり箱を開けるような「博物館によろこそ」、懐かしい風景が次々と出てくる「もっと知りたい私たちのまち」、大スクリーンの自然が美しい「里山の四季」など、それぞれのコーナーが注目を集めていました。再び訪れてみたいと思ってもらえたら幸いです。

19日の午後には、玄関前で豊田本郷の宿和会・本宿雅組による祭囃子が演奏されました。屋台囃子・宮昇殿・じ昇殿・神田丸・唐楽・鎌倉・仕丁舞・人波・屋台囃子といった曲目が踊り付きで披露され、祭囃子の魅力を堪能しました。屋台囃子はコバチを多用した速いテンポに身体が踊るようで、神田丸ではお獅子が登場して泣き出す子もいました。鎌倉ではおなじみの子守歌の調べに聞き惚れ、人波ではヒョットコと観客のやりとりで大いに盛り上がりました。出演した本宿雅組のメンバーはいずれも10代～20代で、平塚ではこうした若い人が熱心にお囃子に取り組んでいます。4月は市内各地で春祭りが催されますので、出掛けてみてはいかがでしょうか。また、博物館では夏にも囃子太鼓のイベントを計画していますのでご期待ください。

「第6回 博物館まつり」発表会のお知らせ

平塚市民プラザにて、第6回博物館を開催しています。会期は4月5日（火）までの10時～18時30分ですが、最終日の5日は15:00で終了します。各サークルの趣向を凝らした展示をご覧ください。

会期後の4月9日（土）には博物館の講堂で博物館まつりの発表会を開催します。会員による研究発表や活動報告をぜひお聞きください。発表会のプログラムは次の通りです。

日時：4月9日（土）13:00～16:00 場所：博物館講堂

- ① 13:05 漂着物を拾う会「私と漂着物、漂着物から何が見える」
- ② 13:25 水辺の楽校生きもの調べの会「水辺の四季の鳥たち」
- ③ 13:45 湘南コケの会「博物館のまわりのコケ」
- ④ 14:05 平塚の空襲と戦災を記録する会「平塚の学童疎開」
- 14:25 休憩
- ⑤ 14:40 民俗探訪会「神奈川県内の鹿島踊り」
- ⑥ 15:00 天体観察会「16年度の活動から」
- ⑦ 15:20 石仏を調べる会「平塚のお地藏さん」
- ⑧ 15:40 古文書講読会「宿と助郷」

「月探査再び」

人類がはじめて月に降り立ったアポロ計画から30年あまりたった現在、月面基地や宇宙資源として、月の存在が再び大きく注目されています。

また、月の起源や進化の謎を解明することが、地球や太陽系の惑星の成り立ちを解くための鍵になると思われており、月へ期待が高まっています。

月の探査

月はもっとも近くにある天体として観測、研究されてきました。その中でも画期的な出来事は1969年から1972年まで行われたアポロ計画です。

アポロ計画はただ単に冒険旅行として計画されたのではなく、月について多くの科学的データを私たちにもたらしてくれました。しかし安全に行き来できる場所を優先したため、月の全てを明らかにするまでには至りませんでした。

アポロ計画終了から10年以上の空白の期間を経て、1990年代から再び月の探査が少しずつ始まりました。

月の石

ところで、アポロ計画で持ち帰った月の石から何があきらかになったのでしょうか。

アポロの探査によって合計で約380kgもの月の石が持ち帰られました。これらのサンプルを分析することで、月がどのような物質でできているのか、現在の姿になるまでどんな出来事があったのかということについて多くの知識を得ました。ここでは月面に存在する代表的な岩石について見てみることにします。

海の石、高地の石

海といっても月の海と呼ばれているところは黒っぽく平坦に見えるところです。そこには玄武岩がありました。地球では玄武岩は海の地殻を形成しています。粘性が小さく、およそ39～30億年前（25億年とも言われている）にかけて月の内部から洪水玄武岩として噴き出し、ベースンと呼ぶ低地を埋めたと考えられています。

一方、高地の石は月の誕生した頃の岩石で、斜長岩と呼ばれる白っぽい石です。アポロの探査で採集された中でも最も古く、月の誕生とほとんど等しい45.1～44.4億年前に形成されました。月の誕生直後は、表面の大部分が溶岩で覆われたマグマオーシャンだったと考えられており、冷えて固まる際に軽い斜長岩が浮かび上がり固まったとされています。

月誕生のなぞ

月は地球の衛星ですが、大きさは直径約3500kmと、太



月面探査中のアポロ17号飛行士

陽系の惑星と衛星の中で以上とも言える大きさがあります。そのため、地球と月は兄弟惑星のようにも言われています。しかし、月の比重は地球に比べ軽く地球と月が同じ場所で生まれたとは思えないのです。月がなぜ地球と異なるのか、その誕生から知るには、もっと調べる必要が出てきました。

月にも水があるの？

1994年1月25日に打ち上げられた月探査衛星クレメンタインは、月の表面の構造を探るためのレーダー探査を行っていました。月の南極付近の観測が行われたとき、南極を中心付近で、電波の反射の強度が急に強くなるのが観測されました。この理由のひとつとして考えられたのは、水の氷が存在しているということでした。月の南極はエイトケン盆地といわれる直径2500キロメートルに及ぶクレーター盆地の内側に位置しています。この付近は周辺に比べて数キロメートル低く、極地域では太陽がごく低い上に、高まっているクレーターの縁の影になるので、その一帯はほとんど太陽の光が当たらないため、氷が蒸発せずに存在できるのです。なぜ月に水があるのかは、わかりません。

日本の計画

クレメンタインはアポロ計画以後、月を科学的に調べる役目を持った最初の衛星でした。日本でも2つの野心的な探査衛星が準備されています。

・LUNAR-A 計画

月に「ペネトレータ」と呼ばれる測定器を打ちこみ、月に起きる地震（月震）の観測から月の内部構造を明らかにする。

・セレーネ計画

15種類の測定機器を用いて、月の周りを周回しながら、月に関して総合的な探査を行うことで月の起源と進化を探ります。

人類が将来、月面に進出したときに、月の資源を利用するための調査を具体的に行うことも目的です。

月を最も近い天体調査、地球外の場所への移住、宇宙への前進基地としての利用、などさまざまな目的をもって、月の再探査が始まろうとしています。

博物館カレンダー

2005年4月の行事

4	1	金	☆ 春期特別展「近世平塚への招待」(～5/8) ☆ 寄贈品コーナー「木と草の実とたね」(～4/27) 古文書講読会	特展室 展示室 講堂
4	2	土	☆ プラネタリウム「月探査再び」(～5/8) ◎ 特別展講演会「近世文書を読む」	プラネ室 講堂
4	3	日	古代遺跡を探す会	講堂
4	6	水	社寺調査会	特研室
4	7	木	展示解説ボランティアの会	特研室
4	8	金	古文書講読会	講堂
4	9	土	◎ 漂着物を拾う会 ◎ 地質調査会 ◎ 博物館まつり発表会	虹ヶ浜 野外 講堂
4	10	日	◎ 水辺の楽校生きもの調べの会 ◎ 学芸員による特別展解説	水辺の楽校 特展室
4	14	木	石仏を調べる会 湘南コケの会	特研室 講堂・野外
4	15	金	古文書講読会	講堂
4	16	土	◎ 特別展講演会「さまざまな資料で読み解く平塚の近世」 天体観察会「ガイダンスと惑星」	講堂 屋上・科学室
4	17	日	◎ 特別展講演会「平塚からみえる近世社会」 ◎ 相模川の生い立ちを探る会 ◎ ろばたばなし	講堂 科学室 展示室
4	20	水	裏打ちの会	科学室
4	21	木	展示解説ボランティアの会	特研室
4	22	金	古文書講読会	講堂
4	23	土	◎ 地質調査会 ◎ 星まつりを調べる会 ◎ 地域史研究入門ゼミ ◎ 空襲と戦災を記録する会 ◎ 学芸員による特別展解説	科学室 講堂 講堂 特研室 特展室
4	24	日	◎ みんなで調べよう「ツバメ調べ」 ◎ 学芸員による特別展解説 ◎ 特別展関連行事「裏打ちの会実演」	講堂 特展室 科学室
4	27	水	社寺調査会	特研室
4	28	木	石仏を調べる会 植物誌調査会	特研室 野外
4	29	金	☆ 寄贈品コーナー「新資料紹介」(～6/5)	展示室
4	30	土	自然の新聞を作る会	野外

<展示とプラネタリウム>
 ☆春期特別展「近世平塚への招待 - 館蔵資料にみる23題」
 会期：5月8日(日)まで
 時間：9時～17時(ただし、金曜日は19時まで開館)
 会場：博物館特別展示室

☆プラネタリウム
 「4月の天文現象」
 投影日：4月2日(土)14時
 観覧料：100円(中学生以下無料)

「月探査ふたたび」
 投影日：5月8日(日)までの土・日曜日の11時と14時
 観覧料：100円(中学生以下無料)

☆寄贈品コーナー
 「草木の実とたね」
 植物の果実と種子のいろいろを紹介します。
 会期：4月27日(水)まで

☆第6回博物館まつり
 博物館で活動するサークル団体による展示会です
 会期：4月5日(火)まで
 時間：10時～18時30分(最終日は15時まで)
 場所：市民プラザ(紅谷町18/銀座通り西端)

2005年5月の行事

5	1	日	古代遺跡を探す会	野外
5	6	金	古文書講読会	講堂
5	7	土	地質調査会 天体観察会「月面」	野外 月光天文台
5	8	日	水辺の楽校生きもの調べの会 民俗探訪会「ガイダンス」 天体観察会「月面」	水辺の楽校 講堂 月光天文台
5	12	木	☆ 展示解説ボランティアの会 プラネタリウム「幼児投影(～7/8)」 石仏を調べる会 湘南コケの会	講堂 プラネ室 特研室・横内 科学室・野外
5	13	金	古文書講読会	講堂
5	14	土	◎ 漂着物を拾う会 ◎ 平塚空襲・終戦60周年記念『戦跡めぐり』 ☆ プラネタリウム「フリークプラネタリウム」(～6/5)	虹ヶ浜 須賀・馬入 プラネ室
5	15	日	◎ 地質調査会 ◎ ろばたばなし	特研室 展示室
5	18	水	裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研室
5	20	金	◎ 星を見る会「月木星土星」 古文書講読会	屋上・科学室 講堂
5	21	土	星まつりを調べる会	特研室
5	22	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ室
5	26	木	展示解説ボランティアの会 石仏を調べる会 植物誌調査会	講堂 特研室・横内 野外
5	27	金	古文書講読会	講堂
5	28	土	◎ 空襲と戦災を記録する会 ◎ 地域史研究入門ゼミ	特研室 特研室
5	29	日	◎ 相模川の生い立ちを探る会	野外

☆：展示(無料)、プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

<参加者募集>
 ◎博物館まつり発表会
 日時：4月9日(土)13時～16時
 場所：博物館講堂
 参加：自由

◎漂着物を拾う会
 海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。
 日時：4月9日(土)9時30分～11時
 場所：平塚虹ヶ浜海岸
 参加：自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

◎ろばたばなし
 民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
 日時：4月17日(日)(1)13時20分～(2)15時～
 場所：展示室民家

◎自然の新聞を作る会
 動植物を観察して自然の新聞を作ります。
 日時：4月30日(土)13時～16時
 場所：金目親水公園
 申込：4月15日までに往復はがきで博物館へ
 定員：30名応募多数の場合は抽選

◎みんなで調べよう「ツバメの巣調べ」
 市内を分担してツバメの巣のありかを調べます、昨年度の続きで
 今年は主に市の北部や西部を中心に調査をおこないます。
 日時：4月24日(日)13時～15時 ガイダンス
 6月19日(日)13時～15時 まとめ
 申込：4月10日(日)までに往復はがきで博物館へ

◎特別展関連行事
 本紙1面をご覧ください。

※常設展・特別展ともにボランティアによる展示解説が受けられます。

あなたと博物館 31巻1号 通算340号 発行 平塚市博物館 2500
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>